

校長室だより



令和5年5月①

一生の思い出 修学旅行に行ってきましたよ！

卒業時の「文集」や、同窓会で「学校生活の思い出」を語っていただくと、多くの人の言葉や心のことばに「修学旅行」があります。2泊3日（中学部・高等部の修学旅行）という短い期間でしたが、これまでの学習（事前学習はもちろんのことそれぞれの学部での毎日の学習）の積み重ねのまとめの大きな学習でもあると思います。

この数年間はコロナ禍の中での実施で場所や内容に制限をせざるを得ない状況でしたが、今年は、高等部の場所の変更はありましたが、中学部、高等部ともに東京方面に予定どおり実施でき、無事に帰ってこることができました。何より全員が参加でき、全員が元気に楽しく大きな「宝物」を作ったたくさんの「お土産」をもって帰ってくることができたのではないかと私自身考えています。

2泊3日ではありましたが、子供たちは、自分たちで計画し、行動し、東京という大都会で公共交通機関を使って移動し、活動できたことは「大きな自信」「大きな心の宝物」であり、そして「大きな思い出というお土産（グッズも）」を持ち帰ってきたことなど「成長」につながったことと確信しています。中学部高等部集会での「行ってらっしゃい集会」と帰ってきてからの「行ってきました報告会」での一人一人の表情、話し方、声の出し方だけでも大きな成長を感じました。それぞれ、最終学年としての「自覚」も芽生えてくるかと期待しています。集会に参加した「後輩たち」にも大きな刺激とあこがれになったことと確信しています。

修学旅行に行ってきたのも、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげであると、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。ご家庭でもお子様の成長をほめてあげてください。

最後に私事ですが、中学部も高等部も2日目に東京ディズニーランドに行ってきました。この世の中で最も好きな夢の国です（家庭は除いて）。子供たちのおかげで、連れていってもらったと感謝しています。いっぱい乗り物に乗り、ミッキーやプーさんグッズもゲットできました。夢のようなひとときでした。子供たちといっぱいおしゃべりでき、いっぱい楽しめました。たくましい子供たちとともに。

